

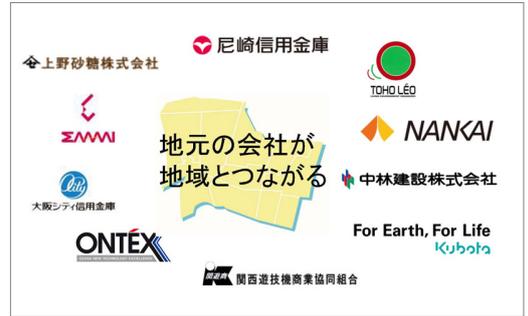
「地元の会社が地域とつながる」 開催レポート

2017年9月5日 14:00~15:30@浪速区役所（参加者 28名）



◎今回のテーマ

浪速区では平成25年4月から、概ね小学校区を基本とした11地域で、地域活動協議会（略称：地活協）が発足しました。この協議会は、地域に関わる人たちが集まって地域課題の解決や活性化に取り組むしくみで、会員には企業やNPO、商店会なども含まれています。そこで、今回は、地域住民と地元企業とで、まちの課題に対してどのように連携していけるかについて考えました。当日は、地元の企業10社から13名が参加しました。



①「企業が子ども食堂運営を通して地域の子どもの見守り」

ゲストスピーカー：矢谷直美さん（株式会社オンテックス）、加瀬澤暁明さん（塩草地域）

株式会社オンテックスで、平成29年3月から企業として実施している子ども食堂「オンテくん子ども食堂」。子どもの孤食をなくしたいという想いから取り組みを開始し、地域や地元の小学校とも連携しています。



保護者同士の交流の場にも



地元住民とのつながりも
（左：加瀬澤さん、右：矢谷さん）

**【ポイント①】
活動の見える化**

周囲に広く知ってもらうことで、活動が根づく。

- ガラス張りの1Fロビーで実施
→地域に活動を見せる
- 社内にキッチン
→社員にも取り組みを見せる

**【ポイント②】
学校との連携**

学校と協力することで、安心して参加してくれる。

- 学校を通じてチラシ配布
→地域の子どもの保護者に確実に届く
- カラフルな案内チラシ
→先生からのヒントに学び、子どもが来たくするよう工夫

Q.100人分、準備が大変では？

A. 立ち上げにあたって、子ども食堂や地域のふれあい喫茶を視察した。実際にカレーライスの調理に参加し、そこで学んだノウハウが役立っています。



【ポイント】

- 漢字にふりがな
- 会場写真
→雰囲気一目で分かる
- 手書きの地図
→かわいい印象

オンテックスはこんな会社

浪速区湊町2丁目にあり、一般住宅・ビル・マンションのトータルリフォームや温浴施設運営などの事業を行なっています。公園遊具を再塗装する社会貢献もされています。

②「クラフトマーケットで地元人が集まる場を」

ゲストスピーカー：榎並二郎さん（株式会社榎並工務店）、交野満さん（浪速地域）

株式会社榎並工務店では、地元行事への協力などを長年続けながら、新たに、地元関係者と協力して平成25年から、芦原橋アップマーケット（クラフトマーケット）を毎月開催しています。



毎月第3日曜日に開催

**【ポイント①】
まちびらき**

定期的にイベントを開催することで、訪れる人の流れができる。

- 出店者を一般募集
→若い世代が参加しやすい
- こだわりのマーケット
→地元ファンを作る

この町を訪れたい
この町でお店を営みたい
この町で暮らしたい

**【ポイント②】
地元と協働**

住民との協力で、地域の文化を外に発信できる。

- 地元の太鼓集団「怒」の生演奏、女性部によるソウルフード販売
→音楽や食を通して町を知る
- 子ども食堂運営支援用のカンパグッズの販売
→地域福祉の貢献にも

Q. イベントを開催しようと思ったのはなぜ？

A. 地域の若者が減少していることから、地域の担い手となる人材を外からよびこむ必要があると考えたのがきっかけです。



毎年7月の夏祭りでは、神輿巡行の休憩所開放を長年行なっています。



地元との連携が必要不可欠
（左：交野さん、右：榎並さん）

榎並工務店はこんな会社

浪速区浪速東1丁目にあり、総合建設業、建設・土木工事などの事業を行なっています。昭和2年（1927年）創業、今年90周年をむかえる歴史ある会社です。